

東区

街道を

ゆく

舟橋 木橋跡

江戸時代の天竜川には、江戸防衛の理由から橋が架けられていませんでした。このため東海道の往来は、東海道より上流の「池田の渡し」の渡船で行われていました。明治元年、天皇御東幸の際には、舟を並べ、板を敷いた仮設の舟橋が二日間だけ架けられました。その後、明治7年には舟橋と木橋からなる最初の橋が完成し、街道の往来は格段に便利になりました。しかし、舟橋は洪水により度々流されたので、明治9年に完全な木橋に架け替えられました。この木橋の「天竜橋」は昭和8年に現在の鉄橋ができるまで使用されました。

中野町銀行跡

中野町は、江戸時代には東海道筋の川越しの集落として、多くの旅人たちにぎわいました。また、明治から大正時代には、天竜川の船運を利用した木材や鉱石の流通基地として隆盛を極めました。明治17年、解説板の立っている場所に「中野町銀行」が誕生しました。その後西遠銀行と合併し、昭和49年まで建物が残っていました。現在は地面に埋もれたレンガにかすかに当時の面影を見ることが出来ます。



このコーナーでは、東区の街道周辺の史跡や文化を伝える資源解説板などを紹介します。



道路脇に残るレンガ

東区協議会だより

Vol. 71

3月26日(火)、第13回東区協議会が出席委員18人で開催されました。

協議事項について

平成25年度地域力向上事業について

区振興課から、平成25年度に実施予定の地域力向上事業について説明があり、承認されました。

助成事業

・十湖翁ゆかりの自然と文化を学習しよう
・遊休農地を利用してそば作りで地域の活性化

・有玉伝統文化継承事業（流鏑馬・獅子舞）
・中野町煙火大会2013
・大船渡市から学ぶ地域防災と大船渡応援イベントの開催
・『世界一、日本一ってすごい！浜松お仕事探検隊！』〜ぽっぷーハートつながり隊2013〜

区民活動・文化振興事業

・東区俳句の里づくり事業
・第5回東区長杯キンボール大会
・劇団たんぽぽ演劇公演
・『東区・家康公ゆかりの里』推進事業
・東区地域福祉講演会
・東区大型商業施設との連携事業

区課題解決事業

・東区交通安全声かけ運動×交通事故ワースト1脱出大作戦
・健康力アップin東区
・中学生自転車危険予知体験教室

報告事項について

人的対応による土日時間外証明交付サービスの縮小について

平成26年度からの縮小について、市民生活課から説明がありました。

〈委員からの質問〉

Q 土日の利用者数はどのくらいか。

A 平成23年度は市全体でおよそ3万8千件で、窓口の利用者は減少し、自動交付機の利用が増えている。

Q 平成23年度から自動交付機利用者が激増しているのはなぜか。

A 平成23年度から自動交付機による発行手数料が、窓口交付に比べ150円減額されたことが原因だと考える。

委員会活動報告について

●地域防災委員会

「平成24年度区版避難行動計画策定会議」に参加し、計画の策定に携わった。25年度は広報活動を積極的に実施する。

●交通安全委員会

交通事故が多い東区の現状を検証し交通事故多発箇所の現場視察などを行った。25年度は体験型の交通安全講座を推進し、啓発を積極的に行う。

●地域福祉委員会

救急医療情報キット「あんしん情報キット」の有効活用を研究し、周知を図った。25年度は外出時用のキットを作成していきたい。